

平成29年度第1回松本市文化芸術振興審議会 次第

日 時 平成29年7月18日(火)
10:00～11:30
場 所 大手公民館 視聴覚室

1 開 会

2 あいさつ

3 会長及び副会長の選任

4 会議事項

(1) 松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業の進行管理について

(2) 今後の予定

5 閉 会

文化芸術振興審議会資料
29. 7. 18
文化振興課

松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業の進行管理について

1 趣旨

改定した松本市文化芸術振興基本方針（以下「新基本方針」といいます。）に基づく施策を推進するため、新基本方針に掲げる対象事業の進行管理、評価基準に係る今後の進め方について報告するものです。

2 経過

- 28. 10 新基本方針を策定
- 29. 1 文化芸術振興審議会の開催
- 3 文化芸術による創造的まちづくりフォーラム開催
- 6 松本市文化芸術振興庁内連絡会議で、新基本方針に掲げる対象事業の進行管理について協議

3 新基本方針における施策の進行管理及び評価に係る取組み方針

(1) 総合的な政策・方針の立案（分野方針 I (1)）

市民に浸透する基本方針を目指すとともに、審議会、庁内連絡会議による定期的な評価・検証を行いながら、総合的な施策の推進を図ります。

(2) 評価基準の設定と評価、進行管理等（分野方針 I (6)）

ア 各事業の戦略目標を明確にし、従来のアウトプット中心の評価から、アウトカム、インパクトを意識した適切な評価方法について研究し、試行します。

イ 施策の展開例に挙げた事業について適切な進行管理を行い、文化芸術分野におけるPDCAサイクルを確立します。

4 進行管理の対象項目・事業と評価基準

別紙1のとおり（全75項目・事業）

5 今後の予定

- (1) 年度末までに対象事業の進行管理及び評価を取りまとめ、併せて審議会に報告します。

文化芸術振興基本方針に係る進行管理の対象項目・事業と評価基準

NO	分野方針	施策の項目	内容区分	課名称	個別項目・事業名	戦略目標	アウトプット(直接的効果)	アウトカム(事業の目的に照らした本質的な成果)	アウトカム指標	インパクト(社会的影響(直接的・間接的効果))	インパクト指標	事業化、指標に係る留意点	
							定量的指標		満足度、活動度等		寄与度		
1	総合的な政策・方針の立案		-	文化振興課・政策課	市民意向調査の実施	市民の実態を踏まえた方針・施策の立案の実現	調査標本数	市民意向の把握(支持度)、これまでなかった層の意見の発見	市民意向の把握(支持度)	市民意向を加味した政策の立案・実施	意見の反映度(見直し数/意見数)	手法等を含めた具体的な検討	
2				文化振興課等	活動実態調査の実施、利用者アンケートの実施	市民の意向を踏まえた方針・施策の立案の実現	調査標本数	市民意向の把握(支持度)、これまでなかった層の意見の発見	活動実態・市民意向の把握(支持度)	市民意向を加味した政策の立案・実施	意見の反映度(見直し数/意見数)		
3				文化振興課	文化芸術振興審議会による事業審議	市民の意見を反映した方針・施策の実現	開催回数	市民のチェックによる施策の推進	評価検証の状況(支持度)	市民意向を踏まえた文化政策の展開	意見の反映度(見直し数/意見数)		
4				文化振興課	文化芸術振興庁内連絡会議の開催	庁内足並みをあわせて文化芸術振興の実現	開催回数	方向性の共有	評価検証の状況(支持度)	文化政策に配慮する行政運営の浸透	行政評価、実施計画等での浸透度		
5	協働・創造発信型事業・総合的な文化芸術振興施策の推進		-	国際音楽祭推進課	セイジ・オザワ 松本フェスティバル及び関連事業	国際音楽祭を国内外に持続的に発信し、音楽文化の発展及び地域の魅力の向上による地域振興につなげる。	集客数、若手音楽家の出演者数	反響(鑑賞者意識の変化、音楽家のスキルアップ)、市民理解の浸透(運営・財務)	参加者の満足度	都市ブランド力の向上、音楽文化への寄与	社会的効果への寄与度	来場者以外の評価、都市ブランド寄与度の貨幣換算等も研究	
6				文化振興課	信州・まつもと大歌舞伎及び関連事業	歌舞伎を素材に市民協働を進め、日本文化への関心、地域の振興につなげる。	集客数	参加者の満足度・反響、市民理解(運営・財務)	参加者の満足度	地域振興への寄与度	社会的効果への寄与度	来場者以外の評価、都市ブランド寄与度の貨幣換算等も研究	
7				商工課	工芸の五月・クラフトフェアまつもと	松本のブランドの一つである「工芸」を素材に、松本の魅力を高め、地域の活性化を図る。	集客数	参加者の満足度・反響、市民理解(運営・財務)	参加者の満足度	都市ブランド力の向上、地域振興への寄与度	松本のイメージの向上(支持率)	現状の関係者の取組みから、今後必要なら対応を整理	
8				文化振興課	創造・発信型事業(まつもと市民芸術館)	地方発の舞台芸術を創造・発信し、地域の振興につなげる。	集客数	参加者の満足度・反響	参加者の満足度	地域振興への寄与度	事業に対する市民の認識度		
9				文化振興課等	官民協働による創造的な事業の検討	新たな文化、関係性を創造し、地域の振興を図る。	関係者数、多様性	新たな関係性の創造	新しいマッチングの生成数	文化芸術による魅力的な地域の実現	松本のイメージの向上(支持率)	方向性を探る(ニーズ調査)	
10	施策の総合的な推進	情報発信・各種制度等の窓口機能	情報発信	文化振興課	文化芸術情報ポータルサイトの整備	情報を集約し、総合発信することで地域の魅力の再発見や文化芸術に対する関心を高める。	アクセス数、情報数	反響の状況	注目度、話題性(メディア露出数)	市のブランド力の向上、文化芸術に関心をもつ層の増加	松本のイメージの向上(支持率)	既存サイトを活用できないか？(新松本物語等)	
11				文化振興課等	市民向けの情報発信方法の研究	市民に向けて地域の見直しにつながる「松本の文化芸術」の情報を発信する。	アクセス数、情報数	反響の状況	注目度、話題性(メディア露出数)	松本の文化芸術に係る市民理解度の向上	市民参加の伸び率	どういった方法が考えられるか？(広報課とも調整)	
12				文化振興課等	SNSの活用(映像媒体の活用を含む。)	即時性・広域性のある情報を提供し、文化芸術に興味を持つ層を広げる。	アクセス数	反響の状況	いいね！の数	文化芸術に関心をもつ層の増加(来場者増等)	来場者数の伸び率	市のSNS対応が確立(広報課と今後の方向性を確認)	
13				文化振興課	活動情報、各種活動支援情報等の集約	文化芸術活動のサポート体制を整え、市民文化芸術活動の振興を図る。	照会件数	反響の状況	市民の情報集約に対する認識度	市民による文化芸術活動の活性化	市民の文化芸術活動に対する認識度	備える機能の特定。スケジューリング	
14			窓口整備	文化振興課、地域づくり課	相談窓口の整備、調整	文化芸術活動のサポート体制を整え、市民文化芸術活動の振興を図る。	照会件数	反響の状況	市民の相談窓口に対する認識度	市民による文化芸術活動の活性化	備える機能の特定。スケジューリング		
15	関係機関等のネットワーク化、連携		-	文化振興課	市内文化施設間ネットワークの構築	事業連携等により文化芸術に対する機運を高め、相乗効果を高める。	連携事業数	効果的な文化芸術企画等の実施	集客の伸び率	地域全体の文化芸術環境の活性化	市民の文化芸術活動に対する認識度	まず、集まる機会づくりから	
16				文化振興課	文化芸術活動団体連絡会議の開催	相互交流により、他団体、他ジャンルに対する理解を深め、新たな文化の創造のきっかけにつなげる。	参加団体数	団体間の関係変化	連携・交流数	地域全体の市民による文化芸術活動の活性化	市民の文化芸術活動に対する認識度	まず、集まる機会づくりから	
17				政策課	大学等との共同研究・共同事業	多角的な視点から地域の魅力を高めるために必要な知、人的ネットワークをつくる。	事業数	新たな知、ネットワークの形成	新たな知、ネットワークの形成	松本地域のイメージの向上(支持率)			
18				文化振興課	文化施設間広域連携(長野市芸術館、上田市交流文化芸術センターとの連携)	広域連携により長野県の魅力を高める。	連携事業数	反響の状況	集客の伸び率	文化芸術をめぐる長野県のイメージアップ	長野県のイメージの向上(支持率)	指定管理者(まつもと市民芸術館)の事業計画に反映	
19				博物館	文化施設間広域連携(松本藩領ミュージアム構想)	事業連携等により地域文化に対する関心を高めるとともに相乗効果を高める。	連携事業数	反響の状況	集客の伸び率	地域全体の魅力度の向上(支持率)	松本地域のイメージの向上(支持率)	動向等を情報共有	
20	評価基準の設定と評価、進行管理等	-	-	文化振興課	アウトカム、インパクトを意識した評価基準の設定	文化政策の科学的な評価の仕組みをつくり、効果的に施策を進める。	個別評価基準の設定状況	得られた新たな視点・情報	効果的な施策の実施	定性を判断する科学的な評価手法の確立	中長期的な効果を測る評価手法の浸透		
21				文化振興課等	文化芸術分野におけるPDCAサイクル確立による進行管理	文化政策の科学的な管理方法を確立する。	進行管理の実施	科学的な文化芸術事業サイクルの実現	妥当な評価検証の獲得	効果的な文化芸術施策の実現	評価検証に基づく改善度合い	進行管理を意識した各事業の執行に	
22	活動環境の整備・充実(発表・鑑賞機会)	環境機能	あり方	生涯学習課等	生涯学習課等	利用しやすい施設等の環境整備(時間帯等を選ばない活動環境等の研究)	利用者懇談会を開催し、利用しやすい環境整備を進める。	利用者懇談会の開催数	公民館の利用者数の増加	利用者の伸び率	趣味や学びを通じて充実した日常生活を送っていると感じている市民の増加	市民満足度調査	動向等を情報共有
23				生涯学習課等	活動情報の発信・オープン化	地域文化を発信する場を積極的に設ける。	文化祭等の実施数	文化祭等の参加者	参加者の伸び率	音楽や芸術にふれていると思う市民の割合が増加	市民満足度調査	動向等を情報共有	
24				生涯学習課等	各世代に応じた参加へのきっかけの提供	より多くの市民が参加できるきっかけとなる講座を増やす	全講座数	参加人数	参加者の伸び率	趣味や学びを通じて充実した日常生活を送っていると感じている市民の増加	市民満足度調査	動向等を情報共有	
25				文化振興課等	施設の性格付けの再検討	施設の活用実態等を踏まえて、施設のあり方を再考し、必要に応じて見直しにつなげる。	検証数	効果的な施設活用による文化芸術活動基盤の整備	目的・実態等に合った施設への転換	市民による文化芸術活動の活性化	活動環境に係る市民の認識度	革革の一環で検討	
26				文化振興課等	相応しい事業実施・施設管理運営方法の研究	住民自治、文化芸術の振興に資する管理・運営手法を開発する。	検証数	効果的な事業・運営による文化芸術活動基盤の整備	効果的な手法の発見	市民による文化芸術活動の活性化	活動環境に係る市民の認識度	革革の一環で検討	
27				国際音楽祭推進課	公共スペース等を活用した表現の場の仕組みづくり	鑑賞、表現者のモチベーションにつながる仕組みをつくり、文化芸術活動の浸透、文化芸術の魅力を高める。	参加者数	反響の状況	参加者の受け止め方(支持度)	市民による文化芸術活動の活性化、関心の高まり	活動環境に係る市民の認識度、行動変化	組織、募集、会場調整等を具体化	
28	美術館、文化振興課等	施設の特徴を活かした自主事業の実施と興味の掘起	文化芸術に触れることで、参加者に変化を起こす。市民による文化芸術活動への関心を高め、参加者の裾野を広げる。	実施数	反響の状況	参加者数、満足度	市民による文化芸術活動の活性化	鑑賞者伸び率	事業計画への反映、情報共有				
29	美術館、文化振興課等	行きやすい環境づくり(周知の見直しを含む。時間帯の変更、無料の日、リピーター等をターゲットにした料金割引、記見等)	市民による文化芸術活動や文化芸術の機能への関心を高め、参加者等の裾野を広げる。	実施数	反響の状況	鑑賞者数、満足度	市民による文化芸術活動の活性化、関心の高まり	鑑賞者伸び率	試行を含めて具体策を検討				
30	文化振興課等	利用者アンケートの実施(定性的・中長期的な評価項目の追加)	継続的な事業展開を行うための市民意向の一つとして参考にする。	実施数	反響の状況	利用者の意向の把握(支持度)	効果的な事業展開の実現	意見の反映度(見直し数/意見数)	モデルを示し、アンケートのリニューアル				
31	文化振興課	市民モニター制度の導入による市民意見の拾上げ	無関心層を含めた様々な市民の意見を拾い上げ、市民意向をつかみ、事業企画の参考にする。	実施数	反響の状況	市民意向の把握(支持度)	効果的な事業展開の実現	意見の反映度(見直し数/意見数)	当面の間、試行的に各館単位で行うか検討				
32	各種文化芸術活動の促進及びそのための支援	活動促進	生涯学習課	きっかけとなる事業の実施(公民館研究集会)	地域文化に関わる分科会を開催し、すそ野を広げ、地域力を高める。	該当分科会の開催数	分科会参加者数	分科会参加者数の伸び率	地域の伝統や文化の保存継承が行われていると感じている市民の割合の増加	市民満足度調査			
33			中央図書館	きっかけとなる事業の実施(図書館まつり)	読者に対する関心を高める。	参加者数	反響の状況	図書館まつり当日の新規登録者数	読書活動の活性化	市民の図書館登録率			
34			関係各課	補助金による活動支援の検証	支援のあり方を検証し、文化芸術振興につながる公正・効果的な財政支援を実現する。	再議件数	文化芸術に係る公正な財政支援の状況把握	活動支援による社会的効果の顕示	効果的な支援による市民活動の活性化	対応しい支援手法への制度を含めて方向づける	所管事業の検証を行い、制度改廃を含めて方向づける		
35	文化振興課	市民ニーズを踏まえた総合的な文化芸術活動支援制度の研究	文化芸術振興に資する効果的な活動支援のあり方を提案する。	素案の形成	効果的な文化芸術に対する支援の実現	社会的効果を踏まえた制度設計	効果的な支援による市民活動の活性化	活動環境に係る市民の認識度	補助金の改廃に併せて新制度を研究				
36	文化芸術に関心を高めるための子どもたちの取組み	学校	機会づくり	学校指導課	教職員の資質向上	子どもにも直接接する機会が多い大人の資質向上を図ることで、子どもたちの感性や創造性を育む営みにつなげる。	研修等の回数、参加者数	文化芸術に対する子どもたちの関心の高まり	子どもの心理的変化(影響率)	感性、創造性豊かな子どもたちの育成実現	子どもの行動変化(影響率)	具体的な研修計画等を計画。影響度を測るものさしを構築	
37				生涯学習課	学校サポート事業(部活動等、シニア層の市民力の活用を含む。)	市民力を活用した学校サポート事業の展開	学校サポート事業数	学校サポート事業参加数	参加者の伸び率	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している市民の割合の増加	市民満足度調査	計画的な協力調整。影響度の測るものさしを構築	
38				国際音楽祭推進課	OMF 子どものための音楽会	本物の音楽に触れることで、音楽への関心を高め豊かな情操・感性を育む。	鑑賞者数	子どもたちへの影響度	子どもの気持ちの変化に係る肯定的評価の割合	文化芸術活動の活性化	子どもの行動の変化に係る肯定的評価の割合	社会的投資収益率(SROI)等を参考とする「みえる化」	
39				中央図書館	ブックスタート事業	乳児期から本に親しむことで、表現する力をもつ子どもを育てる。	配布数	児童書の貸出冊数の増加	対象の子どもに対する配布率	本に親しむ子どもづくりによる感性、創造性豊かな子どもたちの育成実現	児童書の貸出冊数		

文化芸術振興基本方針に係る進行管理の対象項目・事業と評価基準

NO	分野方針	施策の項目	内容区分	課名称	個別項目・事業名	戦路目標	アウトプット(直接的効果)	アウトカム(事業の目的に照らした本質的な成果)	アウトカム指標	インパクト(社会的影響(直接的・間接的効果))	インパクト指標	事業化、指標に係る留意点	
							定量的指標		満足度、活動度等		寄与度		
40	人材の養成・確保	若手芸術家等への支援、指導者育成	-	美術館	未来の学都を支える子どもの育成事業	子どもを対象にした鑑賞教育を実施し、美術への関心を高め、感性を育む。	参加者数	文化芸術に対する子どもたちの関心の高まり	子どもの心理的変化(影響率)	感性、創造性豊かな子どもたちの育成実現	子どもの行動変化(影響率)	影響度を測るものさし、フィードバック方法	
41				文化振興課・政策課等	空き家等の活用によるアートプロジェクト事業	文化芸術と資源の有効活用とを掛け合わせることで、芸術家育成支援と地域の活性化を図る。	実施回数(招聘アーティスト数)	芸術に対する意識の変化、芸術家の創造活動への寄与	参加者の心理変化	まちづくり、人づくりへの貢献度	地域の変化(影響率)	実現可能性を含めた調査	
42				文化財課	指定無形民俗文化財の伝承事業の充実	支援することによって地域に残る伝統文化・芸能を後世に伝える。	参加者数	参加者の意識の変化	参加者の心理変化	地域による人材の育成	参加者の行動変化	充実策の具体案	
43				文化振興課	アーティストバンクの整備及び活用	アーティストの活動実態をつかみ、人的ネットワークの形成、様々な事業での活用等につなげる。	登録数	人的つながりの形成	活用実績(コーディネート数)	まちづくり、人づくりへの貢献度	まちの活性化に対する市民の認識度	様式等の作成、既存データを基に呼びかける。	
44				文化芸術専門職の人材育成・資質向上	文化振興課等	大学等と連携したプロデュース力を持った職員育成	専門能力・コーディネート力を持った職員を育成し、文化芸術に対する市民のソフト的な要求に応えられる基盤をつくる。	研修参加数	職員資質、専門性の向上	利用者の満足度	市民による文化芸術活動の活性化	文化施設に対する市民の認識度(期待度)	文化施設のニーズを把握し、体制整備
45				文化振興課	市民プロデューサーの育成	元気な地域であり続けるために地域の仕掛け人となる人材の育成を図る。	実施数	活動できる人材の輩出	育成者数	育成者に対する地域の期待	地域の変化(期待度)		
46				文化振興課	市民プロデューサー企画による地域活性化	元気な地域であり続けるため、市民プロデューサーの活躍の場を提供し、効果につなげる。	実施数	人と活動に変化を生む。	参加者の心理変化	元気な地域の創出	地域の変化(影響率)		
47				文化ボランティアの育成	文化振興課	文化ボランティアの楽しみを広げる機会づくり	文化ボランティアへの関心・意欲を高め、文化芸術を支える人を育てる。	実施数	文化ボランティアへの関心を高める	参加者の満足度	文化ボランティア活動の活性化	文化ボランティア登録数の伸び率	既存団体に呼びかけ、調整
48					文化振興課	文化ボランティアリーダーの養成	文化芸術を支えるボランティアの牽引者を養成し、文化芸術を盛り上げる。	研修等回数	リーダーの育成	育成者数	文化芸術を盛り上げる。	従事イベントの支持率	既存団体等のニーズを把握し、具体的なカリキュラム等を検討
49					文化振興課	受け入れる側での文化ボランティア・マネジメント機能の充実	文化ボランティアを受け入れる側のノウハウを蓄積し、市民協働の考えをもった職員育成と機能高める。	研修等回数	受け入れ側の能力開発	文化ボランティア参加者の満足度	文化ボランティア活動の活性化	従事イベント参加者の満足度(支持率)	文化施設のニーズを把握し、実施できる体制整備
50	顕彰	文化振興課	文化芸術大賞の顕彰方法等の見直し		活動者のモチベーションの向上につながる顕彰の仕掛けを考へ、文化芸術ジャンルに依存しない内容に改める。	制度設計	効果的な制度の実現	要綱等の改正	文化芸術活動の活性化・モチベーションの高まり	特徴的な活動展開(受賞者数)	他制度との整合、時期を決めて制度改革できるように研究		
51	観光・産業等との連携・振興	観光	観光	観光温泉課	地域の魅力発見による観光コンテンツ、文化体験型企画の開発・発信(ロケイニング等)	新たな観光コンテンツ開発によって観光誘客につなげる。	企画開発件数	反響の状況	リピート数	松本ファンの増加	旅行者数の伸び率	地域の魅力の発見につながるようなバランスのとれた企画づくり	
52				産業	商工課	松本ものづくり伝承塾事業の充実(工芸、民藝等の産業としての活性化を含む。)	ものづくりの技術を継承し、松本のブランド力の1つである工芸、民藝の活性化(産業展開)を図る。	実施数	反響の状況変化(認知度、嗜好行動の変化)	民芸工に対する市民の認識度、行動変化(支持率)	産業循環の実現	発生した付加価値の伸び率	充実策の具体案及び計測方法を検討
53					商工課	空き家等の活用	地域の遊休資源を「創造の場」として機能するような仕掛けをつくり、産業や地域の活性化につながるインパクトを与える。	実施数	反響の状況	関係者の心理変化	新たな創造、イノベーション	地域の変化(影響率)	実現可能性を含めた調査
54					商工課	創造のためのマッチング機会の増大	「創造の場」の機能が十分発揮できるような様々なコーディネートを図り、産業や地域の活性化につなげる。	マッチング数	反響の状況	関係者の心理変化	新たな創造、イノベーション	地域の変化(影響率)	実現可能性を含めた調査
55				地域再発見	観光温泉課	松本検定	地域の素材・魅力を知り、おもてなし力を向上する。	受験者数	地域に対する市民理解によるおもてなし力の向上	受験者の行動変化	おもてなしの向上	松本のイメージの向上(支持率)	期待した効果のストーリーとなっているか検証
56					生涯学習課	市民を対象とした地域資源再発見講座、ツアー	地域に対する愛着を高める地域文化事業の展開	地域文化事業数	地域文化事業参加者数	参加者の伸び率	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる市民の割合の増加	市民満足度調査	
57					商工課	松本あめ市	伝統行事を継承し、地域の活性化を図る。	参加者数	伝統行事等への関心の高まり	市民意識の変化	地域の活性化の実現	地域の変化、売上額	文化的視点を入れた展開の具体化
58				地域活性化	文化振興課	信州・まつもと大歌舞伎関連事業、まつもと街なか大道芸	公演事業を盛り上げるため、街・文化ボランティアを巻き込んだ企画を行い、地域の活性化を図る。	参加者数	文化芸術に対する関心の高まり	市民意識の浸透(支持率)	地域の活性化の実現	地域の支持度	地域の活性化を測るものさしの検討
59					観光温泉課	松本ぼんぼん	祭りを素材とした地域の活性化を図る。	参加者数	祭りへの関心の高まり	市民意識の変化	地域の活性化の実現	地域の変化、売上額	文化的視点を入れた展開の具体化
60					歴史まちづくり	文化財課	歴史文化基本構想の策定及び推進	市民自らが文化財を保存活用する気運をつくる。	策定状況・事業進捗率	文化財保護に関する市民意識の醸成	認定文化財群の数	松本市における文化財保護行政の推進	認定文化財群の保存活用に係る支援策の利用件数
61	都市政策課	歴史的風致維持向上計画の推進	歴史的風致維持向上に資する個別事業を推進する。			個別事業の進捗	松本市の歴史的風致の維持・向上	歴史的風致に対する市民意識の変化(認識度)	都市の健全な発展及び文化の向上「健康寿命延伸都市・松本の創造を推進	・歴史、文化を活かした景観形成による住環境の向上 ・伝統行事、伝統文化の保存、継承 ・観光都市としての魅力の向上			
62	文化振興課	松本城世界遺産推進事業	松本城の世界遺産登録を実現するために市民挙げてのムーブメントをつくる。	事業参加者数		市民挙げて世界遺産にしたいとする意識の醸成	市民意識の変容(支持率)	松本城の世界遺産登録の実現	登録成否				
63	文化芸術による交流促進	-	都市交流課等	シティプロモーション素材の開拓	松本市を知ってもらい、交流人口を拡大する。	新たな素材提案数	松本市の認知度の変化	松本のイメージの向上	都市ブランドの向上、交流人口拡大	交流人口の伸び率			
64			スポーツ推進課	プロスポーツを通じた地域交流	スポーツを通して松本市を知ってもらい、交流人口を拡大する。	実施回数	認知度の向上	松本のイメージの向上	地域間交流の実現	交流人口の伸び率			
65			都市交流課等	市民レベルの都市間交流につながる取組み	市民レベルの交流を進め、交流人口を拡大する。	取組数	継続的な交流への転化	リピーターの伸び率	交流人口の拡大	交流人口の伸び率	しかり、リピーターの把握方法		
66			西部農林課、農政課	クラインガルテンを通じた地域交流	土地の有効活用を図り、都市と農村との交流人口を拡大する。	イベント回数	農村との交流の継続	利用率	農村地域の活性化	延利用人数			
67			文化振興課	国際交流にアピールできる文化芸術交流プログラムづくり	文化芸術の活用によって国際交流人口の拡大する。	実施数	市民レベル、経済・文化交流の拡大	文化目的の来松外国人の伸び率	互恵的な関係の構築	付加価値額の伸び率			
68			人権・男女共生課	多文化共生施策推進事業	さまざまな文化を認め合う土壌をつくり、交流・共生につなげる。	参加者数	異文化理解の浸透	異文化理解に対する市民の認識度	ともに生きていく社会の実現	松本での暮らしに対する満足度			
69			生涯学習課	単独学級講座事業(人権・多文化共生分野)	こいこい松本の開催	事業開催	参加者数	伸び率	地域において外国人住民と交流を促すイベント等に参加したという日本人住民の割合	市民満足度調査			
70			生涯学習課	単独学級講座事業(地域文化・伝統行事分野)の実施と発信方法の見直し	住民主体の公民館委員会単独学級講座事業の見直し	公民館委員会数	公民館委員会参加数	参加者の伸び率	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している市民の割合の増加	市民満足度調査			
71	「くらしの文化」の振興	-	生涯学習課	学校サポート事業(郷土学習)の取組みの強化	学校サポート事業での郷土学習の取組強化	学校サポート事業数	学校サポート事業参加数	参加者の伸び率	充実した教育を受けられるような小中学校の教育環境が整っていると思う市民の割合の増加	市民満足度調査			
72			農政課	地産地消・食育推進事業	伝統野菜や地元産食材の理解を深め、食や農体験を通して地域への関心を高める。	地産地消・食育推進事業の体験児童延べ人数	地元産食材、食、農に対する理解の浸透	市民満足度結果(知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い)	くらしの文化の伝承	市民満足度結果(地元産の農産物を積極的に購入している)			
73			博物館	伝統文化・技術の体験講座事業	古くから伝わる伝統技術等を知り、関心を高め、技術等を継承する。	参加者数	松本の伝統文化・技術に対する理解の浸透	市民意識の変化	くらしの文化の伝承	市民行動の変化(影響率)			
74	健康、医療、福祉分野等における文化芸術の活用	-	健康産業・企業立地課	ヘルスツーリズム事業	新しい松本の魅力、旅行の付加価値を提案する。	参加者数	地域資源に対する認識の変化	松本のイメージの向上	文化の視点による付加価値の創造・産業化	生じた付加価値額の伸び率			
75			生涯学習課	文化財を巡るウォーキング	地域を知ることで愛着を高め、健康増進につなげる。	ウォーキング事業数	ウォーキング事業参加数	参加者の伸び率	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる市民の割合の増加	市民満足度調査			